

重野安正国会便り

No.1 2011年7月11日 重野安正事務所

福島原発事故の実態を調査

7月2日～3日 福島県

7月2日、社民党は、収束の目途が立たない福島第一原発事故の現地調査を行い、3日午後からは「原発事故と低線量被曝を考える福島集会」を福島県福島市で開催しました。

団長として参加した社民党国会調査団は、防護服に身を包み、20キロ境界にある最前線である「Jビレッジ」を訪問し作業員休息室、緊急医療室など調査。下請け孫請け会社が30社余り参加し、毎日2500人以上が作業に携わっていますが、人事管理はずさんな状況が明らかになるなど多くの問題点が表面化しました。

その後、防護服に身を包み20キロ圏内に入り、全住民が避難した楢葉町内を視察、地震、津波、原発事故に見舞われた町内の状況について同町課長から説明を聞きました。

また、福島県副知事と意見交換を行いました。



衆院総務委員会で質問します

7月12日

混乱していた国会も先週からようやく正常化しました。所属する総務委員会も7月12日に質疑が行なわれます。6月16日以来、約1ヶ月ぶりの再開です。

質問時間は午前10時40分～50分の10分間です。被災地の公営交通への支援のあり方などを質す予定です。